



# 海辺のグランドデザインワークショップ

(稲毛～検見川～幕張)

第1回 12/7 SUN  
第2回 12/21 SUN  
第3回 1/18 SUN

開催日：2015年1月18日（日）  
場所：稲毛ヨットハーバー（講習室）  
参加者：公募市民等18人

## ■第3回ワークショップの概要

第1回と2回に作成した物語や意見を実現させるために、行政、事業者、市民の各主体がどんなアクション（行動）をするとよいかを話し合いました。

また、これらの取組みについて Step1～4（概ね1年後、3年後、10年後、30年後を想定）に大別し優先度を話し合いました。



## <スケジュール>

- 13:00-挨拶・説明
- 13:05-第1回および2回の振り返り
- 13:30-理想のまちづくりのためのアクションシートづくり
- 14:40-休憩
- 14:50-未来に向けたホップ・ステップ・ジャンプ
- 16:00-解散

## 理想のまちづくりのためのアクションシートづくり（結果の一部抜粋）

### 1班 協議会のような全体を話し合う場が必要

アクションは全て行政、事業者、市民の協働で行う必要がある。協議会のような全体の話し合いの場が必要。また、財源の確保のため、朝市などのイベントを充実させて利益を公園に還元する。

### 2班 イベント開催など地元に関わる体制づくりを

ビーチイベント等を充実させるためには、行政が場の提供や広報を支援する。また、イベントの調整役として地元事業者を育て、地元に関わる体制にする。市民が積極的に参加したりイベントを提案する事も大切。

### 3班 パークセンターや渚交番を官民連携により運営

時代や要望に合わせた公園管理を行うため、パークセンターを設置して利用ルールの統一や相談窓口の一元化に取り組む。住民、事業者が参画して税金に頼らない渚交番を整備し、海辺の安全を守る仕組みをつくる。

### 4班 マリンスポーツ窓口の一元化により利用を促進

市民や観光客が気軽にマリンスポーツに参加できるように、各種スポーツの団体や市民、事業者等が連携して、マリンスポーツのワンストップ化（窓口の一元化）を図る。

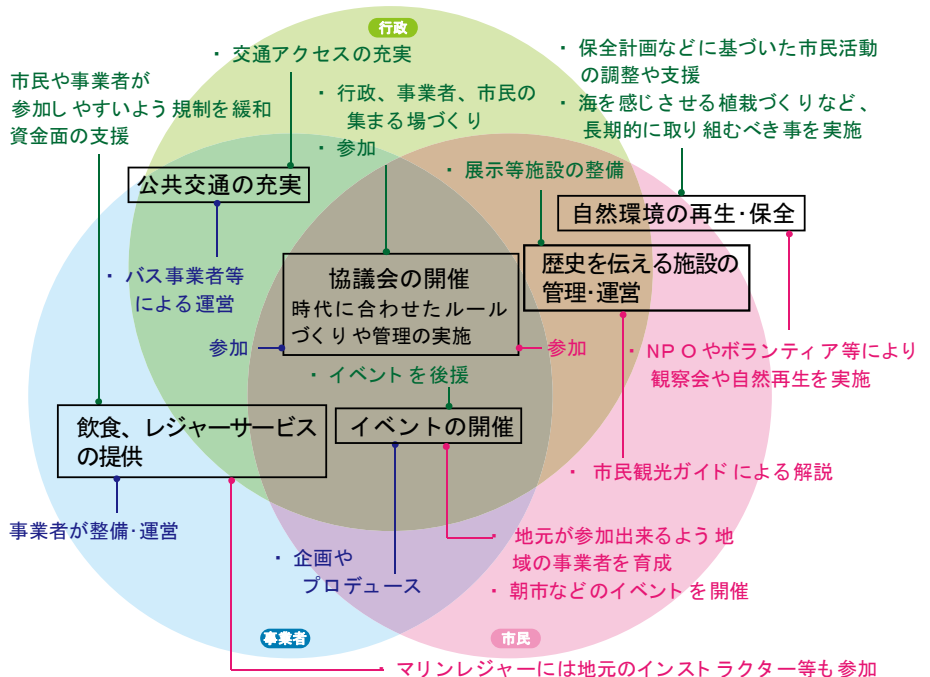
## ■4つの班の主なご意見

（結果の一部抜粋・全班の結果をまとめています）

施設やサービスを充実するためには、各主体が連携することが必要という意見が多くを占めました。



緑字：行政  
青字：事業者  
赤字：市民



## 未来に向けたホップ・ステップ・ジャンプ 実現のためのステップ表（結果の一部抜粋・全班の結果をまとめています）

Step1	Step2	Step3	Step4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用の規制緩和</li> <li>・パークセンターや協議会設置</li> <li>・地域の歴史の展示や解説</li> <li>・マリイベントの企画運営</li> <li>※主に制度や体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅や各サービス施設の整備</li> <li>・インフォメーション施設の整備</li> <li>・駅前での観光情報発信</li> <li>・地域ベンチャー支援等</li> <li>※主にレジャー等施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジャーのインストラクター養成施設の設置</li> <li>・公共交通の充実</li> <li>・貸自転車の運営</li> <li>※主に市街地との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい景観の維持</li> <li>・自然の再生保全</li> <li>※良好な環境の維持・保全</li> </ul> 